

名張ホメだより

●編集発行●

名張市総務部総務室市史編さん担当
〒518-0718 名張市丸之内54-8
☎0595-64-2249

NABARI HISTORY LETTER
No. 9
平成24年8月19日

水害の記憶

一丈六の水神碑を訪ねて

名張という都市は、街なかには城下川(築瀬水路)が流れ、名張川を中心として青蓮寺川、宇陀川の二つが合流するとともに、滝川、シャクリ川、小波田川など多くの支流がながっています。NP(法人地域と自然が作成した「なばり水みちマップ」)には、80の河川に名前が付けられています。

水は、産物の恵みや憩いの場所を与えてくれますが、昨今、ゲリラ豪雨と呼ばれる短時間に大量の降雨による水害がよく発生しています。また、今年7月に気象庁は、九州北部での大雨被害で「これまでに経験したことのないような大雨」という表現をはじめて使われ、警戒を促しました。

大規模な洪水被害は未然に防がれています。しかし、ダムが建設される前の昭和34年の伊勢湾台風では、名張川にかかる橋がすべて流され、11人(資料によれば12人)の尊い命が失われるなど、名張地区を中心に甚大な被害がありました。53年の歳月が流れてもいまだ鮮明に記憶されてる人も多いと思います。

さて、赤目町丈六の西、滝川にかかる丈六橋の袂に1基の水神碑があるのをご存知でしょうか。この水神碑は、昔の水害を今に伝える貴重な史蹟なのです。

『木津川史(1980)』や『名張の金石文撰(1996)』によると、「時は暮末、安政6年(1858)9月2日(旧暦)朝より降り出した雨は夜になり、丈六の堤防を破り、濁流が村内を一飲みにした。庄屋 堀内新次郎と村牛寄 稻荷健



赤目町丈六の水神碑

次らは身の危険を顧みず浸水の防御にあたることに、暗闇と雨の中を逃げまどう村人たちを安全な高台へと誘導した。家屋、田畑の損害は甚だしく、収穫期を前にした村民の苦しみは言語に絶した。先の両名はこれを憂い、引水後、村人を徴して復旧に狂奔、朝は星をいっただいて現場に向かい、夕は月影を踏んで帰路につくなど、率

先して事にあたり、村人を督励した。この努力が報いられて2ヵ月弱の後、より堅固にと念を入れた弥勒垣内の堤防復旧工事は見事完成した」と記されています。

この水神碑は、その堤防の完成を記念するとともに堀内、稻荷両名の徳を讃え、併せてこのような災禍が二度と起こらぬようにと祈りを込めて安政6年11月に水神を祭った碑です。裏面には「たき水の いくたび川を あらうとも こわしとせじな 水神の神」(作者不詳)の和歌が刻まれています。これからどんな大水が出て、もう怖くはないぞとの意味で、村人たちの安堵の気持ちが出たはず。

余談ではありますが、赤目町丈六地区では7月の夜に「祇園さん」と呼ばれるお祭りが水神碑の前で行われ、「水神」と刻まれた文字に器用にきょうりが理め込まれていました。水神と河童が結びついた珍しい信仰です。名張地域の農家ではその年の最初に取れたきゅうりを川に流すそうです。おそろく川に住む河童にきょうりをお供えして、水難事故に遭わないようにする風習でしょう。

これから台風シーズンを迎えますが、先人たちが残した記録を振り返り、学ぶことも防災へとつながるのではないのでしょうか。

市史編さん担当より

新刊 販売中 **第2巻「名張市史 資料編 古代」**

古事記、日本書紀をはじめ古代の名張および、伊賀に関する史料を網羅的に掲載(総ページ数 650頁)

書籍版 (A5 サイズ) …5,000円 CD-ROM版…1,500円

販売場所 総務室市史編さん担当事務所
(丸之内54-8/名張藤堂家邸隣/☎64-2249)

※市役所2階総務室でも販売。郵送希望の人は、総務室市史編さん担当へ

◎第1巻「名張市史 資料編 考古」(書籍版…5,000円、CD-ROM版…1,500円)、「おきつもの名張 今と昔」(800円)も引き続き販売中

まちを元気にする 市民公益活動団体の事業を募集します

事業実施期間 補助決定の日から平成25年3月31日回まで

選考方法 書類、プレゼンテーション(実施日は応募団体に後日連絡)

応募期間 8月27日回~9月10日回(必着)

◎募集要項は、市役所4階地域経営室または市民情報交流センター(中央5)で配布。詳しくは問い合わせ先へ

☎ 地域経営室 ☎63-7484

なせ宿 月曜休館

ワンシェフ募集中

☎ 旧細川邸やなせ宿 ☎62-7760

★料理が好き・将来お店を持ちたい。
★得意の料理をみんなに食べてもらいたい。
★好きな日だけシェフになりたい。
★たくさんの友達をつくりたい。

やなせ宿では、そんな人たちが日替わりでランチを作って、お客様に提供する「やなせワンデイレストラン」のシェフを募集しています。

◎詳しくはやなせ宿ホームページ(<http://www.yanase-shuku.com/>)もご覧ください。

市民陶芸教室参加者募集 伊賀焼きで「罍」花瓶を作ろう 日時 9月30日回 午前10時~ 場所 武道交流館いきいき(蔵持町里) 定員 30人 ※先着順
参加費 2,500円(1作品) 申込 8月20日回から24日回まで(午後2時から5時まで)に、参加費を添えて、名張文化協会事務局(桜ヶ丘/☎64-2132)へ